

第6章

英日対訳辞書

英日対訳辞書は英日対訳辞書レコードを単語見出しのアルファベット順に並べたものである。英日対訳辞書レコードは、レコード番号、見出し情報、文法情報、意味情報、対訳情報、管理情報から構成される。英日対訳辞書の基本的な役割は、英語単語見出しと概念の対応関係を記述し、この対応関係が成り立つ時の日本語の対訳を与えることである。

===== [英日対訳辞書レコードの構造] =====	
<レコード番号>	:レコードタイプと識別番号
<見出し情報>	:(→6.1節)
<単語見出し>	:規則変化語は原形語尾つき
<文法情報>	
<品詞>	:品詞(→6.2節, 表6-1)
<意味情報>	:(→6.3節)
<概念識別子>	:概念の同一性を示す番号(→6.3.1節)
<概念見出し>	:概念を代表する単語見出し(内容語のみ→6.3.2節)
<英語概念見出し>	:概念を代表する英語単語見出し
<日本語概念見出し>	:概念を代表する日本語単語見出し
<概念説明>	:概念の文章による説明(内容語のみ→6.3.2節)
<英語概念説明>	:概念の英語による説明
<日本語概念説明>	:概念の日本語による説明
<対訳情報>	:(→6.4節)
<訳語情報>。。。	
<訳語種別>	:訳語の種類を表す。英日対訳辞書では「同義語」のみ
<訳語表記>	:英語の見出し語に対する日本語の訳語
<管理情報>	:(→6.5節)
<管理履歴レコード>	:更新日付等の管理情報

```

===== [英日対訳辞書レコードの例(名詞)] =====
<レコード番号>                      EJB1083615
<見出し情報>
  <単語見出し>                        claim
<文法情報>
  <品詞>                               普通名詞
<意味情報>
  <概念識別子>                        3d01c7
  <概念見出し>
    <英語概念見出し>                 claim
    <日本語概念見出し>               権利[ケンリ]
  <概念説明>
    <英語概念説明>                   a lawful power which enables a person to
    <日本語概念説明>                 claim his profit
    <日本語概念説明>                 法律上で, 特定の利益を主張しうる力
<対訳情報>
  <訳語情報>
    <訳語種別>                        0
    <訳語表記>                        (当然の)権利

    <訳語種別>                        0
    <訳語表記>                        (当然の)資格

    <訳語種別>                        0
    <訳語表記>                        要求権
<管理情報>
  <管理履歴レコード>                 DATE="95/3/10"
=====

```

```

===== [英日対訳辞書レコードの例(動詞)] =====
<レコード番号>                      EJB1054678
<見出し情報>
  <単語見出し>                        belabor
<文法情報>
  <品詞>                               動詞
<意味情報>
  <概念識別子>                        3cecd7
  <概念見出し>
    <英語概念見出し>                 blister
    <日本語概念見出し>               痛罵する[ツウバ・スル]
  <概念説明>
    <英語概念説明>                   to attack with sharp words
    <日本語概念説明>                 ひどくのものしる
<対訳情報>
  <訳語情報>
    <訳語種別>                        0
    <訳語表記>                        (言葉で)しつこく攻撃する

```

<訳語種別>	0
<訳語表記>	(しつこく)攻めたてる
<訳語種別>	0
<訳語表記>	ののしる
<管理情報>	
<管理履歴レコード>	DATE="95/3/10"

===== [英日対訳辞書レコードの例(形容詞)] =====

<レコード番号>	EJB1095361
<見出し情報>	
<単語見出し>	constant
<文法情報>	
<品詞>	形容詞
<意味情報>	
<概念識別子>	3d0289
<概念見出し>	
<英語概念見出し>	constant
<日本語概念見出し>	一定する[イッテイ・スル]
<概念説明>	
<英語概念説明>	the condition of being unchanging
<日本語概念説明>	一定して変わりのないこと
<対訳情報>	
<訳語情報>	
<訳語種別>	0
<訳語表記>	不変の
<訳語種別>	0
<訳語表記>	一定の
<訳語種別>	0
<訳語表記>	安定した
<訳語種別>	0
<訳語表記>	一様の
<管理情報>	
<管理履歴レコード>	DATE="95/3/10"

6.1 見出し情報

見出し情報は、単語見出しからなっている。英語単語辞書の見出し情報における「不変化部-連接属性対、音節区切り、発音」については含んでいない。見出しとしては、日常生活で用いられる単語、一般化した専門用語や固有名詞、略語などが収録される。単語見出しは、登録した英語単語の綴りを記述したものであり、活用語の場合は語尾を含む原形で登録されている。また不規則変化する語の変化形については、独立した単語見出しとして登録されている。一方、規則変化する語についても、例えば名詞が複数形の時にのみ特別な意味を持つ場合には、その変化形も独立した単語見出しとして登録されている。また見出しが複数の語から構成される場合、構成語間には、特に表記の特定されない語句が挿入される可能性がある。このような場合、構成語見出しの表記が不定の部分は、単語クラス名によってその位置に来る語群を指示する。単語クラス名‘*’は全ての単語を代表する特殊な単語クラス名である。現在、英日対訳辞書に記述されている単語クラス名は、

*	*someone's
*one	*something's
*someone	*oneself
*something	*be
*somewhere	*do
*one's	*suf

である。単語見出しは冊子体辞書における見出しにあたり、ある単語と他の単語との区別を人間が行ない易くするためのものである。単語見出しの異なり数を対訳辞書の語数という。

単語見出しの記述例

apple
manner
manners
went
stay out of *one's way

外来語の単語見出しに含まれるアクセント記号は、アクセント記号を付与する文字の左にアクセント記号を挿入することによって示す。単語見出しに現われるアクセント記号には、以下のものがある。

アクセントの種類	アクセント記号	単語見出しの記述例
アクセサン・テギユ	(´)	@< attach@<e case
アクセサン・グラーフ	(`)	@> pret-@>a-poter
アクセサン・シルコンプレクス	(^)	@^ ch@^ateau
テュー	(~)	@@ se@@nior
ウムラウト(トレマ)	(¨)	@: M@:archen
セディュー	@&	@& gar@&con

6.2 文法情報

文法情報は、品詞のみからなっている。英語単語辞書の文法情報における「構文木、語形情報、文法属性、機能語情報」については含んでいない。英日対訳辞書における品詞名一覧表を表6-1に示す。

6.3 意味情報

意味情報は、概念識別子・概念見出し・概念説明からなる。これは概念辞書の基本構成要素である概念に関する情報である。

人間はある単語を見たときに、その単語によって想起されるいくつかのイメージを思い浮かべることができる。このようなイメージの中で個別の状況に依存しない高い一般性を持つものを概念と呼ぶ。概念は、単語辞書において単語の多義性を識別するための情報であり、一般の辞書における語義に相当するが、言語に対して独立に設定される点異なる。

6.3.1 概念識別子

概念識別子は数であり、概念の同一性を保持するためのものである。概念識別子は、すべての単語に記述されており、概念辞書へのリンク情報となっている。

6.3.2 概念見出しと概念説明

内容語には、概念識別子の他に概念見出しおよび概念説明が付されている。内容語は、自立した実質概念をもつ語で、英語では、名詞類、動詞類、形容詞類、副詞類、構文要素類がこれにあたる。

概念見出しには、その概念を代表するにふさわしい単語見出しが記述される。したがって、英語固有の概念など、その概念を代表するにふさわしい日本語単語見出しが存在しないものには、日本語概念見出しが省略されることがある。

概念説明は、概念の文章などによる説明で、ある概念と他の概念との識別を人間が行い易くするためのものである。

意味情報の記述例

概念見出し			概念説明	
漢字見出し	日本語概念見出し	英語概念見出し	日本語概念説明	英語概念説明
犬	犬[イヌ]	dog	犬という動物	an animal called dog
犬	スパイ[スパイ]	spy	スパイという役割の人	a person who spys

なお、概念に関するより詳細な記述は、「概念辞書」の章を参照されたい。

6.4 対訳情報

「対訳」とは、直観的には「見出しに対応する目的言語側の言語表現」であり、一般的に「訳語」と呼ばれるものである。しかし精密な対訳情報の記述を行なうためには、その性質や制約を明らかにしておく必要がある。

性質：対訳とは、「同じ意味内容を持つ」という関係で見出しと関係付けられた目的言語側の言語表現である。

上記性質は当然のことを述べたにすぎないが、見出しと訳語が同じ意味内容を持っていても、見出しと訳語の概念が完全に一致するとは限らない。例えば、数が5である集合を表す英語の「quintuplet」に対しては、「五個組」と「五人組」の2個の対訳があり、「物であるある場合」、「人である場合」という条件で訳し分けられる。つまり「数が5である集合」という同じ意味内容を持つが、英語の「quintuplet」の概念は日本語の「五個組」あるいは「五人組」の概念よりも広いのである。本対訳辞書では、概念のずれを示すための「補足説明」を訳語表記を補足する情報として、対訳情報の一部に記述する。

また、対訳を記述する上で重要なことは、語義別に記述することである。どの言語においても、見出しは複数個の意味を有する語(多義語)であるのが一般的であり、対訳は意味に応じて異なる。機械翻訳のような応用システムでは、原言語側で使われている意味に対応する訳語を選択することが重要であり、そのためには語義別に記述されていなければならない。例えば、'alcoholic'という英語の形容詞は、次の3個の語義があり、各語義に対して以下のような日本語の訳語が対応する。

例

見出し語:alcoholic 品詞:形容詞

語義1:containing alcohol

対訳1:アルコールの入った

語義2:of, concerning, or caused by alcohol

対訳2:アルコールの, アルコールが原因の

語義3:suffering from alcoholism

対訳3:アルコール中毒の

1個の語義に対する訳語の個数は、複数個でもかまわない。上記の例では、語義2は、「アルコールの, アルコールが原因の」という2個の訳語を持つ。機械翻訳システムにおいては原言語が使われている意味によって訳語選択を行う必要があるため、当然語義毎に訳語が記述されていなければならない。英日対訳辞書では、6.3で述べた「意味情報」を語義の区別に利用している。

英日対訳辞書における対訳情報は、訳語の個数分の訳語情報から成る。1個の訳語情報は訳語種別番号、訳語表記、から成る。訳語表記中には後で述べる補足説明が記述される。つまり、対訳情報には訳語の表記だけでなく、訳語に関連した様々な情報が含まれる。

6.4.1 対訳関係

英日対訳辞書では、見出しと訳語の関係を以下のように分類している。まず、見出しと訳語はすべて「同義」関係とする。日英対訳辞書に導入した「非同義」関係は英日対訳辞書では扱わない。「同義」の関係は、更に見出しと訳語の概念一致の度合により「完全同義」と「部分同義」の2種類に細分類される。「完全同義」は見出しと訳語の概念がほぼ同一であるとみなせる場合の関係であり、「部分同義」は見出しと訳語の概念が部分的に同一である場合の関係である。

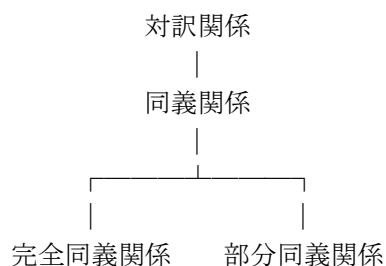


図6.1 対訳関係

これら、「同義、完全同義、部分同義」の関係を「対訳関係」と呼ぶ(図6.1)。対訳関係の値は英日対訳辞書レコード中に陽に記述されていない。これらは、6.4.2で述べる「訳語種別」および6.4.3の「訳語表記」の記述形式によって区別される。「同義」の中の「完全同義関係」と「部分同義関係」の区別は、6.4.4で述べる「補足説明」としての「見出し固有情報」、「訳語固有情報」のいずれかが訳語中に記述されて否かによってなされる。「見出し固有情報」、「訳語固有情報」のいずれかが訳語中に記述されていれば「部分同義」の関係にある訳語である。これら「補足説明」が記述されていない訳語が「完全同義」の関係にある訳語である。

6.4.2 訳語種別

訳語種別は、訳語の記述形式を表す情報である。日英対訳辞書においては、日本語固有の概念を持つ見出し語に対する訳語を精密に記述するために、「非同義」の関係を導入し様々な訳語の記述形式を用いたが、英日対訳辞書においてはパラフレーズ的な訳語であっても一律に「同義」の訳語であるという扱いにする。従って訳語種別を表す番号は一律「0」が与えられる。

6.4.3 訳語表記

英語の見出し語に対する日本語の訳語である。訳語表記中には6.4.4で述べる「補足説明」が記述される場合がある。

6.4.4 補足説明

補足説明は、部分同義関係にある訳語に付与される情報であり、見出しあるいは訳語の意味的制約を記述するものである。英日対訳辞書では補足説明には以下の2種類がある。日英対訳辞書で導入した「典型例」、「レジスター情報」は、扱わない。

見出し固有情報
訳語固有情報

これらの内容は下記の通りである。

(1) 見出し固有情報

見出しのみが持つ意味的な制約である。訳語表記中の構文的に正しい位置に'()'で記述される。また、動詞に関して特定目的語を取る場合もその目的語を'()'で示す。見出し固有情報の記述形式には特に制約はない。

例	見出し	訳語
	blanch	(病気・恐怖などで)青ざめる
	canon	(倫理・芸術上の)規準
	careen	(船を)傾ける

(2) 訳語固有情報

訳語のみが持つ意味的な制約である。訳語表記の先頭に、'<<>>'で記述される。訳語固有情報の記述形式には特に制約はない。

例	見出し	訳語
	legend	<<人では>>伝説的人物
	legend	<<行為では>>伝説的所業
	navigation	<<船では>>航行
	navigation	<<飛行機では>>飛行

6.5 管理情報

英日対訳辞書では、管理情報として「管理履歴レコード」という項目を持つ。本項目には更新日付など任意のコメントを記述する。

6. a 諸表

表6-1 英語品詞名

表6-1 英語品詞名

類	品詞名	コード	例
名詞	普通名詞	EN1	book
	固有名詞	EN2	Tokyo
	基数詞	EN3	one, two
	序数詞	EN4	first
	助数詞	EN5	piece, amount, bit
代名詞	人称代名詞	EP1	I, my, me, mine
	疑問代名詞	EP2	who, what
	指示代名詞	EP3	this, that
	不定代名詞	EP4	some, anyone
	関係代名詞	EP5	who, whose, that
動詞	動詞	EVE	run
	be動詞	EBE	am, are, is
形容詞	形容詞	EAJ	beautiful
副詞	関係副詞	ED1	whenever
	疑問副詞	ED2	how
	副詞小辞	ED3	off, up, back, round
	接続副詞	ED4	because, since
	普通副詞	ED5	very, actually
前置詞	前置詞	EPR	in, on, at
	前置詞相当語	EPR2	in front of, according to, regarding
決定詞	指示限定詞	ET1	this, that
	不定限定詞	ET2	any, both, either, such
	冠詞	EAR	a, an, the
助動詞	助動詞	EAV	will, must
	助動詞相当語	EAV2	have to, would rather
間投詞	間投詞	EIT	ah, oh
接続詞	等位接続詞	EC1	and, but
	等位接続詞相当語	EC12	
	従属接続詞	EC2	whether
	従属接続詞相当語	EC22	even if, so that
不定詞	不定詞	EFT	to, not to
接辞	接頭辞	EPF	semi-
語尾	名詞語尾	EEN	(book)s
	動詞語尾	EEV	(turn)s, (turn)ed, (turn)ing
	形容詞語尾	EEA	(small)er, (small)est
	副詞語尾	EED	(hard)er, (hard)est
構文要素 (句・文)	名詞句	ENP	
	動詞句	EVP	kick the bucket
	形容詞句	EAP	green with envy
	副詞句	EDP	all in good time
	前置詞句	EPP	under the counter
	独立句	EIP	no names, no pack drills
	文	ESE	Time flies like an arrow.
その他	単位	EUN	cm, kg
	記号	ESY	A, B, C, a, b, c, ?, &